

COVID-19最前線2021

- 流行下のがん医療と看護を考える -

COVID-19の流行により、がん医療や看護について改めて考えることが求められています。
最新の情報や、他施設での取り組みから、感染症流行下のがん医療の在り方について皆様と一緒に考えたいと思います。

日時

9月5日(日) 13:00 - 15:00

場所

WEB開催 (zoom)



対象者

医療従事者、医療機関の職員

申込
方法

下記URLまたはQRコードを読み取り、応募フォームよりお申し込みください。
<https://forms.gle/CjhUhhF7PLbxU23v8>
締め切り：2021年9月2日(木)

参加費

無料

第1部 13:05 - 13:50

【特別講演】

「COVID-19ががん患者に与える影響」

神戸大学医学部附属病院

腫瘍・血液内科 小山泰司



第2部 13:50 - 14:35

実践報告：「COVID-19流行下における外来での取り組み」

神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター がん薬物療法看護認定看護師 土井久容

実践報告：「COVID-19に関わる医療従事者へのメンタルヘルス支援」

和洋女子大学 精神看護専門看護師 寺岡征太郎 先生

実践報告：「COVID-19流行下における当院緩和ケア病棟の現状」

甲南医療センター 緩和ケア認定看護師 江川亜希 先生

第3部 14:35～14:55

ディスカッション

(問い合わせ先) 神戸大学医学部附属病院

担当：がん相談室 新森

緩和ケアチーム 加藤

TEL：078-382-5830 (がん相談室)